発行 清田地区町内会連合会
編集 清田地区町連広報部
〒004-0841　清田区清田1条2丁目
清田まちづくりセンター内　TEL:886-3630

清流あしりべつ

明るく楽しく住み良い清田地区を！！

清田地区町内会連合会会長　片倉　武吉

本年度の定期総会も無事に終了し、猪野毛会長より引継ぎを受けて就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

皆様には、平素より町連及び町内会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

清田地区の重要課題は、「新区民センターの移転」や「地下鉄延伸」「清田警察署の設置」「高齢化や防災対策」など多々あります。

これよりは、行政をはじめ関係機関等への働きかけを一層強め、協働して諸課題に向かって前進し、清田地区を安全で安心して暮らせる住み良い地域として定着するため、新役員はもとより町連理事や各部長とともに心新たに町連運営に尽力する決意を固めたところであります。

町連事業等を円滑・効率的に進め、その目的を達成するためには、町内会員の皆様のご理解とご協力が必須でありますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍を乗り越え

前清田地区町内会連合会会長　猪野毛　昭男

清田地区町内会連合会は昭和40年（1965年）に発足し、一貫して「住み良いまちづくり」を目指し活動を続けてまいりました。清田町連は平成27年（2015年）11月に創立50周年を迎え、私は平成29年（2017年）に町連副会長に就任しました。平成30年（2018年）9月6日に発生した胆振東部を震源とする大地震の教訓から、大地震が発生した場合、町内会に住むお年寄りや障がいのある方々の避難をどう援助するかが大きな課題となりました。

当町連では大規模災害時に「要支援者名簿」の提供を札幌市から受け、私達は「町内会」や「福まち」活動の課題として受け止め、全単町（単位町内会）で避難体制づくりを精力的に取り組み、現在に至っています。この活動が強く印象に残っています。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「まちづくり」を合言葉に健康寿命を延ばす活動をしてきました。

令和3年（2021年）、清田地区町連会長に就任し、誰しもが経験したことがないコロナ禍問題に遭遇しました。その中で皆様方のご協力により今日に至り、様々な活動に取り組むことができました。その1つは、単町あっての町連である事を肝に銘じて、単町の部活動と町連の部活動をつないだ取り組みを積極的に行い、活動が軌道に乗ってきたことです。2つ目は副会長3人の担当分掌を明確化したこと。そして3つ目は「清田町連業務」と「清田まちづくりセンター業務」の明確化を図ったことです。

長年にわたってご協力、ご指導有難うございました。

地域活動「続けること」の大切さ

清田区長　浅山　信乃

本年4月に清田区長に着任いたしました浅山（あさやま）です。

「清流あしりべつ」の発刊にあたり、清田地区の皆さまに謹んでご挨拶申し上げます。

皆さまには、日頃から清田区のまちづくりに対しご理解、ご協力いただいておりますことに、心よりお礼申し上げます。

清田地区の皆さまは、町内会連合会を中心とした「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」での環境美化活動や防犯ボランティア研修会、不法投棄巡回パトロールなど、さまざまな地域活動に取り組んでおられます。私が長年まちづくりに携わって思うことは、「続けること」の大切さです。日々の活動のおかげで住みよいまちが維持されるのはもちろん、活動を通じて地域の絆を深めていくことは、災害にも高齢化にも強いまちづくりにつながります。皆さまの取組に心より感謝と敬意を表するとともに、私どもとしましても、その土台となる安全・安心・にぎわいのあるまちづくりに引き続き尽力していく所存です。

なお、今年は5年に1回の国勢調査の実施年となっています。国勢調査は札幌市の人口、世帯、住居などに関する大規模な調査となっております。区役所としましても、今回の調査をまちづくりに活用したいと考えておりますので、お手数をおかけしますが、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、清田地区町内会連合会の益々のご発展と、会員の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。どうぞご一緒に清田区を盛り上げてまいりましょう！

清田町連定期総会 新町連会長に片倉氏を選任

清田地区町内会連合会は4月19日（土）、令和7年度定期総会を清田区民センターで開催し、引き続き安心安全なまちづくりを目指す本年度事業方針などを承認、決定しました。

役員改選も行い、町連会長に副会長だった片倉武吉さん（真栄第二町内会）を選任しました。4年間、町連会長を務めた猪野毛昭男さんは町連顧問に就任しました。

副会長には、吉田和久さん（真栄第四町内会）、今野哲郎さん（清田有楽町内会）、星加文雄さん（真栄第二町内会）の3人を選任しました。会長、副会長全員が新任です。

今まで副会長だった住吉誠一さんと田崎克文さんは勇退しました。

▲町連執行部の皆さん。（左から）片倉会長、吉田副会長、星加副会長、今野副会長

▲町連定期総会の様子＝清田区民センター

オオバナノエンレイソウの群落 清田緑地

清田緑地では5月初め、白いオオバナノエンレイソウの群落が見られます。木道がある湿地と区民センター第2駐車場奥の緑地の群落が特に見事です。同じ時期、ニリンソウなどもたくさん咲いて、緑地がにぎやかになります。

オオバナノエンレイソウは優雅で気品ある姿から「森の貴婦人」と呼ばれたりします。北海道大学の校章（シンボルマーク）になっている美しい花です。

▲オオバナノエンレイソウの群落＝2025年5月5日、清田緑地

▲森の貴婦人

新任町内会長

真栄第三町内会長
笹尾 雅之

この度、真栄第三町内会長を拝命いたしました笹尾雅之と申します。

私は、昭和47年8月にこの地に来ました。当時はまだ街灯もなく、夜になると星が綺麗に見えていたのを覚えています。

当時はまだ開発途上のこの地で、諸先輩の方々が紆余曲折を経て築きあげてきた真栄第三町内会は、まもなく半世紀を迎えようとしています。

当町内会も時代の波には逆らえず高齢化が進んできています。この中で何ができるのか、何をすべきかを考えた時、町内会の皆さんの声を聞き、耳を傾け、更なる「安心安全な住み良い町内会」を作り上げて行かなければならないと考えております。

町内会の皆さんのお力を借り、その一端を担って行きたいと思います。

有明町内会長
小澤正司

この度、有明町内会の会長に就任いたしました小澤です。

有明町内会は昭和43年に設立された、歴史ある町内会で、現在53世帯が加入しています。

南区に隣接し、自然豊かな環境の中に有明小学校もあり、地域の皆さまとさまざまな活動を通じて交流を深めています。

防災の話し合いや、河川改修整備と真駒内御料線拡幅整備の要望、高齢者の見守り活動などにも力を入れ、町内会役員を中心に地域全体で取り組んでいます。

今後も地域のために尽力してまいります。

2年続けて道路陥没 地中に大きな空洞 真栄3条2丁目の御料線

真栄3条2丁目の道道真駒内御料札幌線で昨年4月に続き、今年2月26日、またも道路陥没が発生しました。原因が分からず、札幌市は専門家による検討委員会を立ち上げ、調査しています。

今年の道路上の穴は縦80cm、幅60cm、深さ2.3m。しかし、穴の下の地中には縦11m、幅2m、深さ3.8メートルの大きな空洞ができていました。

今年の穴からわずか100m羊ケ丘通方向に行った場所でも昨年4月28日、同じような道路陥没が起きました。穴の大きさは縦2m、幅20cm、深さ3mでしたが、やはり地下にはなんと幅2.4m、長さ9.7m、深さ2mの大きな空洞があったといいます。この時も原因不明でした。

2年続けて同じような場所で地中に大きな空洞ができるとは驚きです。埼玉県で1月、大きな陥没事故があっただけに心配です。何とか原因を突き止めて、対策を取ってほしいものです。

▲昨年の道路の穴

◀今年の道路の穴。この下に大きな空洞があった

小竹克美さんに町内会役員表彰

2018年から7年間、真栄第四町内会防犯防災部長を務めた小竹克美さんに5月29日、清田地区懇談会の席上で、浅山信乃清田区長から表彰状が贈られました。この2年間は清田町連防災防犯部長も務めました。

浅山清田区長から表彰状を贈られる小竹さん（左）▶

清田小児童が田植え

清田小学校の5年生が5月28日（水）、同校の学校田「ゆめ田んぼ・あしりべつ」（70坪）で今年も田植えを行いました。みんな興味津々、楽しい体験でした。

元気いっぱい田植えをする清田小児童▶

賑わった清田ふれあい区民まつり

多くの区民でにぎわう会場＝6月29日（日）、区役所前

真栄第四町内会 6年半の粘り強い交渉 土砂災害警戒区域指定巡り 札幌市から前進回答引き出す

真栄4条1丁目の急傾斜地（崖地）を北海道と札幌市が土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域に指定する問題をめぐり、真栄第四町内会（吉田和久会長）が反発して指定できないでいましたが、今年3月、北海道と札幌市側が譲歩して一定の前進回答を示したことから真栄第四町内会は指定に同意しました。4月、同崖地は警戒区域に指定されました。

この問題が起きたのは2018年9月。道と札幌市が清田区内の土砂災害警戒区域指定に関する住民説明会を清田区民センターで開催し、真栄4条1丁目の当該急傾斜地が指定地の1つであることが突如発表されました。

この崖下の住宅40戸が土砂災害警戒区域（イエローゾーン）にかかり、住宅7戸がより危険度の高い特別警戒区域（レッドゾーン）にかかると言われました。

ところが、この危険発生源である崖地が市有地なのに「警戒区域指定はするけど、危険除去のハード対策工事はやらない」という市の説明に住民は「無責任だ」と反発。真栄第四町内会は2度にわたり善処を求める要望書を札幌市と道に出し、何度も交渉を重ねました。

その結果、札幌市から今年3月、「崖面の変状があれば、危険除去のハード対策の検討を含めた必要な対応を行う」「特別警戒区域に留意した崖地の経過観察および調査を行う」との前進回答を得ることができました。実に6年半に及ぶ交渉の末でした。

ただし、道と札幌市の回答は、地域住民が望んだ100％の回答ではありません。道と市の回答書を受け取った吉田町内会長は「当地域の本来の要望は『ハード工事による危険の除去』であり、特に『レッドゾーンに対する優先的措置』等により、住民の安心・安全が確実に図られることです。今後も引き続き、崖地の変化等がある場合には道と札幌市と意見交換していきたい」と注文を付けました。

▲土砂災害警戒区域指定を巡り、問題となった崖地＝真栄4条1丁目

清田区応援大使 頑張る佐藤広大（こうだい）さん

真栄団地町内会出身の人気シンガーソングライター

真栄団地町内会出身の人気シンガーソングライター佐藤広大さんが昨年11月、清田区から「清田区応援大使」に委嘱され、音楽活動の傍らふるさと清田を盛り上げるために頑張っています。

佐藤広大さんは真栄団地町内会出身で、清田幼稚園、真栄小学校、真栄中学校、札幌新陽高校に通いました。今も真栄団地に実家があり、ふるさと清田への熱い思いを持ち続けるシンガーです。

子供の頃から歌が好きで、真栄中の時は、学校近くの羊ヶ丘通沿いにあったカラオケボックス「グランプリ」（今はありません）に友人とよく歌の練習をしたそうです。

大学は札幌国際大学に進み、そこで苫小牧出身の同級生、EXILE・SHOKICHIさんと知り合い、ボーカルユニット「JACKPOT」を結成、一緒に清田のカラオケ店「キャッツアイ」でよく歌の練習をしたそうです。

大学卒業後、本格的にシンガーの道を目指し、自身の楽曲がテレビ番組「情報ライブミヤネ屋」に採用されるなど、だんだんとその才能と存在が認められるようになっていきました。

2017年、メジャーデビューし、札幌を拠点にライブコンサートなどで活躍。FMノースウェーブで自分のラジオ番組「from R&B」（木曜22時～23時）を持っており、これは12年も続いています。

札幌円山動物園のPR大使も務めており、同動物園のPRソング「手をつなごう」は、佐藤広大さんが作った曲で、円山動物園では毎日、閉園時にこの曲が流れます。

佐藤広大さんの歌は、仲間や地元の人たちへの「感謝」や「恩返し」をベースにしているといいます。元気でノリのいい曲もいいですが、ソフトで包み込むような優しい曲も実にいいです。謙虚で柔らかな人柄が歌ににじみ出ているようで、そこが魅力です。

佐藤広大さんは、歌手活動の傍ら北海道の子供たちを支援するNPO法人「あおぞらプロジェクト」を立ち上げ、子供たちが遊ぶ公園に時計を贈る活動を行ってきました。清田区内では、真栄さぼてん公園（真栄4条4丁目）、真栄東公園（真栄5条5丁目）などに贈っています。

清田区応援大使として、今年3月には札幌創世スクエア（中央区北1西1）1階で清田スイーツPRのミニライブを行ったほか、4月1日には里塚・美しが丘地区センターで子ども食堂を開催。さらに、6月7、8日には「佐藤広大杯モルック大会」を清田区役所前広場で開催するなど清田区を盛り上げる活動を活発に行っています。

また、これまでの子どもや障がい者支援の活動経験から今年4月、北野4条3丁目に開設された児童発達支援放課後デイサービス「グラン・シード北野ルーム」の特別指導員になったほか、6月には障がい者支援施設「KODAI HOUSE みんなのおと」（里塚4条3丁目）を開設。音楽活動だけでなく社会活動にも活動の幅を広げています。

そんな佐藤広大さんが子供の頃の真栄の思い出を語ってくれました。

「小学生の頃、東急ストア真栄店（現東光ストア）によく行きました。2階にゲームセンターがあって、友達とのたまり場でした。床屋は『理容のほりえ』さん（真栄4条5丁目）に行ってました。散髪中に寝ちゃって『ボク』と起こされたり。おじいさんが町内会の役員をやっていて、団地会館駐車場で開催してくれた子供向けのお祭りや、さぼてん公園の盆踊り大会、厚別川での川遊びなどふるさと真栄は懐かしい思い出がいっぱいあります」

（川島亨）

▲佐藤広大さん＝真栄団地町内会館前で

▲知野清田区長（当時）から「清田区応援大使」を委嘱された佐藤広大さん＝2024年11月15日

▲きよたスイーツPRミニライブで歌う佐藤広大さん＝2025年3月15日、札幌創世スクエア

夕張バス旅行

清田町内会

清田町内会は6月8日（日）、25名の参加者で夕張市へのバス旅行を実施しました。車窓から、炭鉱住宅跡、立坑やぐら、草木に覆われたズリ山、使われていない大型観光施設、また新設された拠点複合施設、町営住宅、天然芝のサッカー場、メロンを栽培している多くのビニールハウスなどを見ることができました。

夕張市石炭博物館の展示室で昔の炭鉱の様子を知り、地下の模擬坑道を実際に石炭に触れながら歩いてみました。

▲清田町内会の皆さん＝夕張市石炭博物館前で

真栄第四町内会 余市のニトリ観光果樹園でサクランボ狩り

真栄第四町内会は7月1日（火）、29名が参加して女性部バス旅行（男性の参加もOK）を実施しました。雨の予報が一転、快晴となり、バスは高速に乗って一路余市へ。1時間ほどで「ニトリ観光果樹園」（旧山本観光果樹園）に到着しました。

籠を片手にサクランボを摘んでは食べて、食べては摘んで、違う品種と食べ比べてみて楽しみました。持ち帰って自宅でも美味しくいただきました。

▲真栄第四町内会の皆さん＝ニトリ観光果樹園で

百人一首教室を開催 真栄団地町内会館

真栄団地町内会館（真栄5条5丁目）にて右記の通り5月より「百人一首教室」を開催しています。北海道独特の下の句カルタは、明治時代より冬の遊びとして行われ、その後、競技として発展し広がりを見せ今日に至っております。

百人一首は子どもたちに集中力と協力性を育み、昔の文書にも親しめる知的な遊び・競技です。百人一首教室では子どもたちへ伝統文化の継承、普及を目的として行ってまいります。また、高学年には札の意味、作者についてなど歴史の学習にも繋げてまいります。

わかりやすい札から取り合っていくというように、初心者にも楽しく気軽に参加できる百人一首教室です。保護者の皆様の参加、読み手のご協力も大歓迎です。

・練習会場　真栄団地町内会館
・練習日時　月2、3回（土曜日）
　13:00～15:00
（百人一首指導者　坂本 貴裕）

下の句カルタに取り組む子ども達

春を呼ぶ鯉のぼり

今年も4月20日（日）から5月6日（火）まで清田の厚別（あしりべつ）川に、鯉のぼり90匹が掲揚されました。NPO法人あしりべつ川の会が毎年行っているもので、清田の春の風物詩になっています。

春風に揺れる厚別川の鯉のぼり

町内会のお祭り 開催一覧

町内会名	名　称	開催日時	会　場
真栄第一町内会	真栄第一町内会 夏まつり	7月26日（土） 12時～17時	真栄わんぱく公園
美しが丘町内会	美しが丘町内会 夏祭り	8月2日（土） 12時～16時	美しが丘 四季の公園
新平岡町内会	なかよし 子どもまつり	8月3日（日） 16時～18時	イオン清田店駐車場 東側（市の緑地帯）
真栄団地町内会	真栄団地町内会 第52回夏まつり	8月16日（土） 15時～20時	真栄さぼてん公園
真栄5町内会 （真栄第一、同第二、同第三、同第四、東真栄）	第49回真栄5町内会 盆踊り大会	8月16日（土）、17日（日） 18時～21時	真栄公園 グラウンド
真栄第三町内会	真栄第三町内会 ふれあい祭り	9月20日（土） 11時～14時	真栄第一公園
真栄第四町内会	園遊会	9月28日（日） 11時～13時	佐々木農園広場

清田で見られる野鳥

ツグミ

撮影　今野哲郎（清田有楽町内会）

2025年3月、清田西緑地

清田まちづくりセンター便り

清田まちづくりセンター（清田区民センター内）は、所長1名と支援員2名で運営しております。今春から所長と支援員1名が新たに着任いたしました。地域の賑わいづくりや安心安全なまちづくりのお手伝いをさせていただくとともに、地域の皆さまの声を大切にし、身近な存在でありたいと思います。電話011-883-7600。

清田地区町連
公式ホームページ
URL https://kiyota-shinnei.kiyotamin.net/

清田区へ地下鉄を！
地下鉄東豊線建設促進期成会連合会
ホームページ
URL https://kiyota-chikatetsu.com/

令和7年度 清田地区町内会連合会 役員

役職	氏名	備考
相談役	牧野　晃	元清田町連会長
顧問	猪野毛昭男	前清田町連会長
会長	片倉武吉	真栄第二町内会監査
副会長	吉田和久	真栄第四町内会会長
	今野哲郎	清田有楽町内会交通安全対策部長
	星加文雄	真栄第二町内会会長
監事	三浦英三	新平岡町内会副会長
	成田　智	清田有楽町内会体育部長
理事	濱本武司	清田町内会会長
	佐藤静也	清田有楽町内会会長
	髙橋弘吉	新平岡町内会会長
	住吉誠一	真栄第一町内会会長
	星加文雄	真栄第二町内会会長
	笹尾雅之	真栄第三町内会会長
	吉田和久	真栄第四町内会会長
	大橋秀雄	東真栄町内会会長
	山田まゆみ	真栄団地町内会会長
	中島永昭	美しが丘町内会会長
	小澤正司	有明町内会会長
総務部長	吉田和久	清田町連副会長
財務部長	西野　徹	真栄第一町内会監事
福祉厚生部長	宮下敬敏	真栄第一町内会福祉厚生部長
保健衛生部長	松長利臣	真栄団地町内会環境衛生部長
防災・防犯部長	宮下義明	美しが丘町内会防災防犯部長
交通安全対策部長	佐藤　嗣	真栄第三町内会交通安全対策部長
青少年育成部長	上杉郁美	新平岡町内会青少年育成部長
女性部長	三上美由紀	東真栄町内会
体育部長	上杉郁美	新平岡町内会体育部長
広報部長	川島　亨	真栄第四町内会

令和7年度 清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会 役員

役職	氏名	備考
会長	片倉武吉	清田町連会長
副会長	吉田和久	清田町連副会長
	今野哲郎	清田町連副会長
	阿部哲夫	清田地区不法投棄ボランティア監視員協議会会長
	山田敏夫	清田地区商工振興会会長
	櫻　修二	あしりべつ川の会理事長
事務局長	星加文雄	清田町連副会長
会計	西野　徹	清田町連財務部長
監事	成田　智	清田町連監事

令和7年度 清田地区社会福祉協議会 役員

役職	氏名	備考
会長	片倉武吉	清田町連会長
副会長	吉田和久	清田町連副会長
	宮下敬敏	清田町連福祉厚生部長
事務局長	吉田和久	清田町連副会長
会計	西野　徹	清田町連財務部長
監事	三浦英三	清田町連監事
	成田　智	清田町連監事

令和7年度 清田地区福祉のまち推進センター運営委員会 役員

役職	氏名	備考
委員長	今野哲郎	清田町連副会長
副委員長	三上将之	清田地区老人クラブ連絡協議会会長
	小山　眞	清田地区民生委員児童委員協議会会長
広報部長	今野哲郎	清田町連副会長
ふれあい部長	石幡清子	真栄第一町内会副会長
研修部長	小山　眞	清田地区民生委員児童委員協議会会長
生活支援部長	宮下敬敏	清田町連福祉厚生部長

令和7年度 地下鉄東豊線建設促進期成会連合会

役職	氏名	備考
会長	牧野　晃	元清田町連会長
副会長	片倉武吉	清田町連会長
	猪野毛昭男	前清田町連会長
事務局長	川島　亨	清田町連広報部長

きよた文苑

短歌　真栄第一町内会　山本顕之進

晩秋やいちょう並木の花吹雪　朝の見守り通学路
夕暮れの赤ねの空はキャンバスに　むれて飛び立つガンの群れ
特殊詐欺甘い言葉と恫喝で　心と金を根こそぎ奪う
わさわさと森の木ゆれる峠道　にわか驟雨にカバンの日傘
角界に唯一無二の大の里　故郷に凱旋錦を飾る
思い出は風のささやき鳥の声　緑おりなす古里山河
人生をおもむくままに謳歌して　八十路を過ぎて老々介護

川柳　真栄第三町内会　吹矢政喜

千鳥足若き日酒で現在（いま）年齢（とし）で
頻尿は歩け動けの神の指示
シーズンか夜の騒音二輪狂（にりんきょう）
少子化で米離れなのに米不足
外弁慶日ハム地元敗け多し
どぎゃんするトランプまみれ米国（あめ）の衆
コンクラーベいつも乍（なが）らの根比べ